



WEEKLY NEWS

超私の奉仕

和歌山東南ロータリークラブ第2640地区 2005～2006

例会日 水曜日 (第1・第2夜間)
夜間・PM.18:30
水曜日 (第3・第4・第5)
昼間・PM.12:30

例会場 華月殿 和歌山市屋形町2-10
〒640-8227

事務局 和歌山市西汀26 経済センター7F
TEL 073-423-3666
FAX 073-423-7200

http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp

国際ロータリーRI会長 カールヴィルヘルム・ステンハマー
国際ロータリー第2640地区ガバナー：平尾 寧章

和歌山東南ロータリー会長 山口幸也
副会長 郷間敏博
副幹事 郷間敏博 竹中昭美
副会計 駒阪純章 土井 潔
副会場監督 西田義昭 土屋一博

幹事 和田達男
会計 楠本聖二
会場監督 駒阪純章
直前会長 中村美之
クラブ会報委員長 中村美之

副委員長 鯨 拓也
委員 井畑順三 片畑宏造
津川善昭

週報
9号

通算第1691



本日の例会

本日9月14日(水)「華月殿」

ロータリーソング 四つのテスト
外部卓話 プログラム委員会「潜在の脳の活性化②」

次回の例会

次回9月22日(木) 休暇村紀州加太 18:30～21:00

行事予定 「観月家族会」 親睦委員会

先週例会報告 来訪者紹介・ビジター

SAA駒阪純章



会長の時間 (報告)

山口会長

本日の行事はIDM(ファイヤーサイドミーティング)の発表です。班長さんに後の発表ご苦勞様です。IDMテーマは「会員家族が参加する(出来る)国際奉仕活動」です、今回は情報委員長さんが35周年記念事業を意識さ

れたのテーマと思います。

今期RI会長ステンハマーさんのテーマに水問題と識字率向上が発表されました。

我が東南ロータリークラブが誕生して35年になり、35周年委員長さん他委員の方々が記念事業として国際奉仕(WCSを活用)事業に取り組んでいただいております。私の希望といたしましては、識字率向上に貢献できるような事業にお願いしたいと思います。

『識字』とは、「文字」をおぼえることと広辞苑に記されています。

パストガバナー 前田孝道様が、「ロータリーの友」に『識字』とは、文字を知っているということです。文字を知らない人…そんな人は学齢に達した日本人にはありません。ですから識字率向上などということは、聞いてもわれわれ日本人にはピンときません。……

カンボジア国境地帯の地雷原に立てられている立看板の文字が読めないばかりに、毎日数十人の子供たちが足を吹き飛ばされています。又非識字者が女性に多いことも、数々の問題を生みます。教育が受けられない事や正しい知識が得られないために、計画出産や性病予防がままならず人口増加抑制の最大のポイントは親の教育であります。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生率が低下し先進国並になることが知られています。

「読む能力は人々が生きていくために欠かすことのできない要素です。読み書きを学ぶ機会を与えられなかった人は、個人的にも社会生活においても、一人前の人間として過ごすことはできません。

(一部「ロータリーの友」より抜粋紹介しました。)



和田幹事

幹事報告 (平成17年9月7日)

○クラブ情報・規定委員長会議
平成17年10月8日(土) 12:30～受付
和歌山YMCA会館 6F ホール

○クラブ広報・雑誌の西田委員長、「ロータリーの友」誌のアンケートをお願いします。

○第3回囲碁東京大会開催への案内が参っています。詳しくは、事務局にてご確認下さい。

○8月24日(水)の理事会で決定して報告をしていませんでしたが、会報に載せて頂きました。

この事項について、クラブ例会にて賛否を取りたいと思います。

(1) 日本のロータリーに現存する情報関連三組織、即ち「ロータリーの友」、「ロータリー文庫」、「RJW」を「ロータリー情報センタージャパン」として一本化する件。

(2) この「ロータリー情報センタージャパン」の運営資金は、日本34地区に席を置くロータリアンが負担し、運用を日本ガバナー会に付託する件、(ただし、目安として、初年度は従来通りの負担とし、以降合理化に合わせて、引き下げる努力をする。)上記案件の2項目に関して、クラブ例会で全員賛成にて承認を得ました。地区の方に報告を行います。

ニコニコ箱

本人お誕生日御祝い・中村君、西田君。
配偶者お誕生日御祝い・奥村(博)君、郷間君。
楽しい宴の為のニコニコ。



八塚君・IDM発表をよろしく。

松浦君・B班の皆様、たくさんのお出席ありがとうございました。後、所用で申し訳ありませんが、欠席させて頂きす。それから発表の方、早田さんよろしくお願ひします

	本日	累計
ニコニコ箱	36,500	597,586
ロータリー財団	0	93,200
米山奨学金	0	335,000
東南育英会	0	5,000
35周年委員会	0	136,000
合計	36,500	11166786

出席者報告 奥村智子委員長

会員総数 37名 免除会員4名・名誉会員1名

◆ 9月7日(水) 27名ホームクラブ出席率 81.91%

～明るい例会楽しい雰囲気づくり～

◆ 8月24日(水) 30名メイクアップ後出席率90.91%

第1回IDM発表 「会員・家族が参加する（できる）国際奉仕活動」

B班 リーダー松浦 薫《発表者》サブリーダー早田充宏 8月29日(月)和歌浦「かねなか」 参加人数7名中6名

D、E班と3班合同にて和歌浦の和食「かねなか」で行いました。B班は7名中6名出席とたくさん参加して頂きました。テーマについては、35周年となる今期はフィリピンカブヤオと連携して、大きな事が出来ればという話

でした。今後のカブヤオからの連絡で必要な事やどうゆう所なのかなどをふまえて進行状況を見て判断していこうという話でした。

C班《発表者》 サブリーダー 吉田 遼 9月1日(木) 新地 丸岡 参加人数7名中6名

IDM C班ですが、9月1日・夜7:00より班長鯨様以外の全員出席で6名(釜中・前田・竹中・溝落・山口会員)で新地 丸岡で行いました。本当に楽しくわき合いあいの中

で行いまして、これがIDMの良さなのだろうと、又ロータリーの良いところなのだろうと、つくづく思いました。とにかく、前田管長が最高でした。 以上です。

D班《発表者》リーダー 井畑順三 8月29日(月)和歌浦漁港前 「魚もん屋」 参加人数8名中6名

当日はB班・E班との合同開催となりました。今回のテーマについてまずは土屋国際奉仕委員長より、WCSの進行状況を説明していただきました。また、WCS、マッチング・グラント等のご説明もいただきました。その後各班にて議論に入り、特に本年度は35周年記念事業であるということ踏まえての議論でした。

東南ロータリークラブ全体で盛り上げていく必要がある。
・以後の問題（●寄贈施設や物品の維持管理●先方RCとの関係維持）で、今後起こりうる金銭的・人的負担をなどよく検討してプロジェクト内容や奉仕先を決定する必要がある。

リーダーまとめ

議論というより、知っている者が説明するといったミーティングとなりました。過去において「参加したした者」は分かっている、「参加していない者」は全く分らないという世界であるように感じ取れました。

個人においても「社会奉仕」の観念はかけらとして持っていないのが現在の日本人というよりも日本人そのものであるように思います。プロジェクトの選考、推進は当該委員会におまかせして、その他の会員は詳細な報告を通じて「国際奉仕」について考えを持ち、プロジェクトは一過性であっても、理念と活動が回を重ねる毎により意義のあるものに熟成されるような国際奉仕活動の指針作りとなる機会になることを期待したい。

E班《発表者》リーダー土屋一博 8月29日(月) 和歌浦「かねなか」 参加人数7名中4名

私達E班は、B班、D班と合同で8月29日(水)「かねなか」で18:30～行いました。E班としての出席は稲葉会員、市川会員、奥村智子会員と私の7名中4名です。せっかくの合同なので、今回国際奉仕委員長をおおせつかっている私として現状の報告流れを説明などでインフォメーションさせていただきました。で、発表としましては日現活動のRI活動を継続的にといいま

すか、広報的なものをもっと工夫することが大切であるということ。(月)前回の施設についても、使用者は現地での中流家庭以上であること(火)将来的に井戸工事を発展させて、浄水場の建設も提案として出ました。以上、私の主観ですが、本当に困っている人々に本当に必要としているものを提案していくのは大切であります。困難であるなあと思いました。

〇「第1回 米山功労者」 太田豊隆様



第一回東南ゴルフ会優勝 保田博会員

東南ゴルフ会長より優勝カップを贈呈され喜びの保田会員



二〇〇五年九月八日貴志川ゴルフクラブで開催、「優勝」



COFFEE BREAK

知ってどーなる 知って得か！お役に立つかわからんコーナー

● ダフる「ダフ」って何のこと？

ゴルフの初心者が多いミスは、ボールの手前を叩く失敗。ボールはチョロチョロころがるだけで、遠くへは飛ばない。これを「ダフる」と呼ぶのだが、この言葉の語源は「ダフター」で、英語で下手な人、ダメな人全体を意味する。それが日本では、ボールの手前を叩くミスショットのことだけを指すようになり、いまではゴルフ用語になっている。ちなみに、英語では、ボールの手前を叩くことは「スクラップ」という。これは、首の後ろや襟という意味で、ボールを頭にみたくて首の後ろ、つまり、手前を叩くショットのことを表わしている。